

現地隊員レポート



Philippines フィリピン

24年度1次隊

青木 裕美子

職種 電気科教師
青年海外協力隊



訪問先の学校で

任地には小学校と高等学校合わせて約50の学校があり、海の近くから山の中まで点在しています。これらの学校を巡回して理科の先生を支援する活動をしています。たくさんの先生や生徒に出会えることをとてもうれしく思います。フィリピンの高等学校は、日本の中学校および高等学校に相当します。



フットフットで通学

自転車に人が乗れるようなカゴを付けた乗り物がフットフットです。自転車のベルの代わりに「フット、フット」という音を鳴らしながら走るので、フットフットと言うそうです。バイクにカゴをつけたものはベディキャブと呼ばれます。山にある学校は交通手段が無いところも多いです。



ビサヤ語の先生

ビサヤ語は任地で話されている言語です。フィリピンでは地域によって80種類以上の言語が使われています。このビサヤ語を教えてくれるのが、近所の子どもたちです。いつも笑顔で受け入れてくれる任地の人々に感謝しています。



バスコ

「バスコ」はクリスマスを意味します。任地のバスコ市には、クリスマスシーズンになると大きなクリスマスツリーが出来上がります。夜になるとライトアップされ、夜遅くまでたくさんの人たちで賑わいます。子どもが多く、エネルギーが溢れる町です。



同僚とパニウッド

お昼の12時が近づく和家人から持ってきたお弁当を広げてパニウッド（お昼ごはん）の時間です。お米が主食ですが、スプーンとフォークを使って食事をします。おかずは持ち寄ったものをみんなでいただきます。同僚たちは家族のような存在です。



フィリピンの民族衣装

女性は袖が膨らんだシースルーのブラウス「キモナ」、男性はこちらもシースルーのシャツ「パロンタガログ」です。キモナにはロンクスカート、パロンタガログにはスボンを含めます。この写真は大家さんのお孫さんが撮ってくれました。

フィリピン共和国

通称フィリピンは、東南アジアに位置する共和制国家。島国であり、7,109の島を有する。国名は16世紀のスペイン皇太子フェリペにちなんでいる。

- 国土面積は40万平方キロメートル、日本約8割、7,109の島々がある
- 人口約1億1千万人（GDPも世界第、フィリピン経済発展中）
- 英語が公用語（母語人口1,100万弱）
- 首都がニューズピレーン（マニラ）で、スベイン及びアメリカの植民地であった歴史がある
- 世界最大の英語圏はフィリピンであり、80%以上の識字率がある。

